

視察研修・研修会等報告書

議席番号（ 15 ）議員名（ 中村 久信 ）

1 年 月 日 2021年3月30日 (日数 泊 1日)

2 場 所 自宅

3 視察、研修事項 ネット研修：これから議会改革～議会からの政策サイクルと
議会成熟度評価

4 講 師 山梨学院大学教授：江藤俊昭氏
三重県可児市議会議員：川上文浩氏
日本生産性本部 地方議会改革プロジェクト事務局員

5 視察研修、研修会の成果

○何のための議会成熟度評価か？

① 住民福祉向上のための更なる議会改革

② 評価情報を知ることにより、または自ら評価を行うことにより住民の政治
参加を充実させる。

○国政とは異なる地方自治

① 二元代表制で有り、首長との政策競争。従って討議が重要（与野党関係で
はない）

② 直接請求ができる住民自治

○住民自治の根幹としての議会

① 議会は地域経営における重要な権限を持つ

② 首長とは異なり多様性の中で討議により合意形成を図ることが重要

③ 執行機関がいなくても議会は成り立つ（勘違いしている議員が多い）

○質問

① 議員の花であるが分断を招く

② 一般質問や会派代表質問を廃止し委員会代表質問の議論

○議会成熟度評価の意義

① 議会改革には完成形はない。成熟度が高まればさらに高次元の目標が生ま
れる（議会改革の永続性）

② 成熟度評価は日本生産性本部の「経営品質」の発想を活用している。⇒「善
き政策」には組織プロセスが重要で有り、価値創造（住民自治の推進）が
目的

③ 成熟度評価によって議会が変わり行政が変わり、住民も変わることを目指
す。

○可児市の事例紹介

○「議会評価モデル」と「議会プロフィール」の概要及び活用法の紹介

○所感

議会は地域経営の柱を担い、その方向性や具体的な施策について決定し責任を負う。そのために多様な考えを持ちながらお互いの考えを尊重しながら討議を尽くす事によって合意形成を図る。改めてその役割と責任の重さを認識し、更なる議会改革及び議会活動の向上に活かしてまいります。